

都立葛飾ろう学校放課後子供教室

■実施組織

文泉こどもクラブ実行委員会

構成メンバー 学生ボランティア（筑波技術大学・聖徳大学）

地域ボランティア（かつろうサポーターズ） 教員（チーム文泉）

保護者（有志）

■プログラム内容

午後 学習教室（約 40 分、年 9 回）

ものづくり教室（筑波技術大学オリジナル教材 年 3 回）

からだをうごかす活動（ドッジボールほか 年 2 回）

プラレールで遊ぼう（年 1 回）

聖徳大学・筑波技大生によるレクリエーションイベント（年 1 回）

本校食物系料理教室（年 3 回）

夏祭り・サンサンカーニバル（年 1 回）

休日 聴覚障害者の二十歳を祝う会（年 1 回）

ダイバーシティイベント（子どもたちは手話指導者側、年 2 回）

■実施規模

年間：土曜日 1 2 日、休日 2 日

■活動のPR

文泉こどもクラブの 11 周年を迎えました！！

葛飾ろう学校の特色である専攻科食物系の料理教室、子どもたちにも大人気で本年度も 3 回開催の予定です。

通常活動では、聖徳大学の学生さんに見てもらいながらの学習を 40 分。その後に筑波技術大学生による「ものづくり教室」や地元聴覚障害者連盟の協力で「からだを動かす活動」を行ないます。

筑波技術大学は日本唯一の視覚障害者と聴覚障害者の為の大学で、本校の卒業生をはじめ、全国から集まった聴覚障害者が学んでいます。地元聴覚障害者連盟の方々はもちろん、料理教室をしてくれる専攻科食物系の生徒も、指導してくれる皆さんが子どもたちの輩の先輩であり、ロールモデルとして活躍してくれる姿は頼もしいです。

タッチこどもクラブ（立川学園）・大塚クラブ（大塚ろう学校）と合同で開催したドッジボール大会も大人気で、本年度も開催の予定です。

いずれの活動も、公教育の中では出会えない学びがあると考えています。